

## TIA-nano 公開シンポジウムのパネルディスカッション 「我が国のイノベーションシステム構築に TIA-nano の果たすべき役割」

(2014 年 9 月 3 日開催)

### (1) 我が国が求められている市場対応(図表の最上段・筆者補足)

我が国は、国内と 2 つのグローバル市場、3 つの市場環境の変化に対応しなければならない。

①少子高齢化、人口減少等、課題先進国である我が国の国内市場の変化

②少し前まで騒がれた BRIC s、アジア、アフリカ等の新興国市場である。

この市場に合った品質と価格対応が求められる。

③シェールガス・オイルという新エネルギー源を獲得したアメリカと我が国の展開が弱い欧州という先進国市場へのテコ入れである。

これら 3 つの市場の獲得、再開拓には企業のマーケティングが欠かせない。企業のマーケティング力の強弱はさておき、市場に身を置く我が国企業のこの面でのリーダーシップ、市場開発に期待したい。

### (2) 我が国が目指すべきイノベーションシステム(図表の上から 2 段目)

イノベーションは「市場と技術が融合(マッチング)した時に成立するもの」と定義できる。

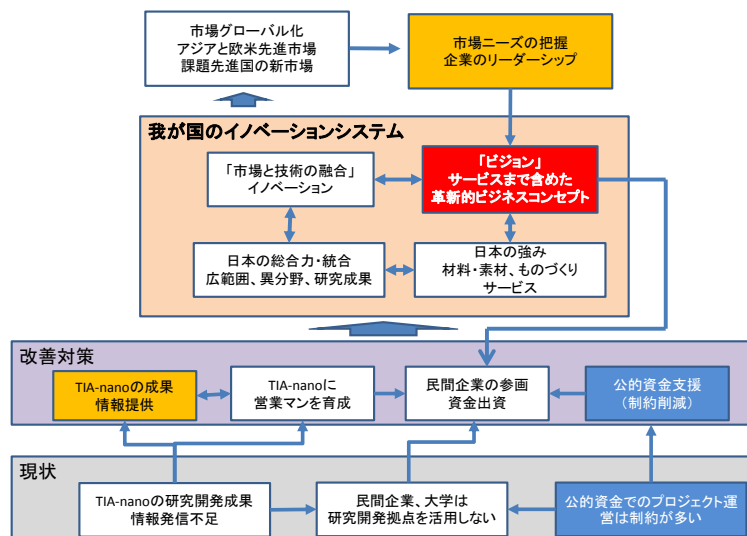
新しい市場へのアプローチは、市場の洞察(マーケティング)をビジョンや市場コンセプトに転換することから始まる。ビジョン、市場コンセプトに対応する新製品、新サービスは、欧米先進国、新興国との競争激化により、開発スピードと完成度が求められる。オール日本で対応し、研究開発の効率を向上させなければならない。

幸い我が国には材料・素材、ものづくり、おもてなし(サービス)という強みが健在である。

### (3) TIA-nano の現状・問題(図表の最下段)

TIA-nano の 4 機関はそれぞれ良い成果を挙げている(以下の大前提)が、その成果が上手く産業界や他の大学に伝わっていない。そのため、企業や他の大学が TIA-nano という研究開発拠点の活用が遅れていると考えられる。また、外部の利活用が進まないのには、TIA-nano の運営は公的資金でほぼ賄われていることから使途、特許等の成果利用等の制約が多く自由な研究開発が阻害されることも影響していると考えられる。

図表 パネルディスカッションの総括



(4) TIA-nanoに必要な改善(図表の3段目)

TIA-nanoの改善は成果や研究開発体制等の広報、TIA-nanoの利用価値のアピールから始めなければならない。そのためには産業界、他の大学等への営業活動も必要である。営業マンが必要である。

TIA-nanoに研究所・駐在を置くことのメリットを周知することである。これまでの様な待ちの姿勢ではTIA-nanoに変化は起きない。メリットを感じさせることができれば、企業はTIA-nanoに進出するだろうし、企業の出資も期待できる。

(5) TIA-nano(研究者)のモチベーション向上

本日の講演やポスター展示でTIA-nanoの成果が十分に示された。橋渡しが重要である、

TIA-nanoの使命には、社会・産業への貢献がある。この点からの評価が重視されるようになれば、TIA-nanoの研究者もTIA-nanoも変わると期待できる。